

- 氏名 : 河瀬 賢一郎
- 会員番号 : PE-0171
- 専門分野 : Electrical
- 登録州 : ワシントン

1. PE 試験合格後の履歴

2007/10 東京で実施されたPE 試験を受験

2008/1 合格通知を受け取る

2008/3 JSPE の合格祝賀会に参加

登録方法についてワシントン州へ問い合わせたところ、記入すべき用紙は教えてくれたが、記入方法が難しそうであったため、しばらく様子を見ることにします。

2008/7 気が変わり、オレゴン州への登録準備を開始

PE 試験合格者が続々と PE 登録されていること、東京で合格した場合のオレゴン州登録は合格後2 年が期限という情報を聞いて、あせりはじめた時期です。登録費用の支払方法、ABET 適合評価など、OSBEELS にメールでかなり質問しました。同じ時期に、ECE へ学歴評価申請書類一式を送付しました。

2008/9 ECE から評価結果到着

Reference をお願いしていた PE のかたに面談をしていただきました。関西の方でしたのでわたしから出向くのが筋ですが、さいわいその方が名古屋出張にあわせてお時間をとってください、名古屋で面談していただきました。オレゴン州への登録フォームに一通り記入したものを確認していただき、注意事項、修正点など登録申請未経験者には思いもよらないことをいろいろと指摘いただきました。修正してよいよ申請しようというところで、「ある事情」によりオレゴン州への登録を一時断念します。

2009/1 JSPE マガジン新春号で、ワシントン州への登録体験記を拝見

わたしも後に続かねばと思い、ワシントン州への登録可能性を確認することにしました。

「ある事情」がワシントン州登録の制約事項になるかどうかを DOL へ確認したところ、ワシントン州では問題ないという回答をいただいたので、ワシントン州への登録準備を開始します。しかしここでまた別の問題が発生しました。ABET 適合評価を受けるため CPEES へ評価申請をしたのですが、英文の講義概要が必要でした。出身大学に問い合わせたところ、英文講義概要を発行できない、という回答のため、自分で作成して工学部長に承認してもらおうしか方法は無いと思い、当時の学生便覧を実家から持ってきて、しこしこ英訳を始めました。

2009/2 JSPE のみなさまから、PE 登録はどうなったかというご心配をいただく

現状をお伝えすると、ABET 適合評価無しでもとりあえず登録申請をして、登録される可能性はある、と PE のかたからご助言をいただき(このかたはJSPE マガジン4 月号でワシントン州への登録体験記を披露されています)、ワシントン州登録用の Reference をいただけるよう PE のかたがたに再度のお願いをしました。

2009/3 英文講義概要を何とか作成し、出身大学へ承認を依頼

ワシントン州の登録申請書一式もなんとか書き上げ、DOL、NCEES へ発送するとともに、PE のかたへも Supervise Reference のフォームを送付して、必要事項をご記入後 DOL へ発送していただくようお願いしました。

2009/4/2 Supervise Reference をお願いした PE のかたから、書類一式を DOL へ発送

2009/4/14 DOL から倫理と法規の宿題一式が送られてくる

宿題が送られてくれば、登録は間近と思っていたので、この時点で一安心しました。

宿題を解いて返送すること、NCEES からの Experience Record が未達という記載があります。NCEES へは、DOL への申請と同時に申請書類を送付済みなので、Ashley Bernazzoli 氏へメールで再依頼をしました。

2009/4/20 自作の英文講義概要を工学部長にて承認していただけたとの回答あり

2009/5/7 倫理と法規の宿題を解答したマークシートを DOL へ送付

いまとなっては ABET 適合評価は不要ですが、\$375 支払済みのため、あきらめることなく英文講義概要を CPEES へ送付しました。

2009/5/25 わたしの登録申請が DOL にて評価され承認。PE スタンプについての案内が届きました。

2009/6/8 DOL から名刺サイズの登録証が到着

2009/7/1 DOL から A4 サイズの登録証が到着

2009/7/2 CPEES の評価再開

2009/7/25 CPEES から評価結果が到着(同時に DOL へも送付されているはず)

2. Reference について

社内に PE がいないため、JSPE に頼るしかありませんでした。結果として、鬼金関西2005 でお世話になった PE 2 名から Reference をいただき、もう1 通は、PE 合格祝賀会で名刺交換をさせていただいた、情報通信に携わる電気メーカーの PE のかたからいただきました。Supervise Reference は、同じ Electrical の PE のかたにお願いしました。3 名とも社内ではありません。残り2 通は、社内の部長と、グループマネージャにお願いしました。

3. ABET 適合評価について

最初にオレゴン州へ登録するつもりで、ECE に評価を依頼しましたが、すんなりいきました。結果は単位の過不足が書いてあるわけではなく、取得した単位を U.S. Credits に換算した成績表になっています。大学院の取得単位も評価の対象となるようです。そして最後のページに、アメリカと同等の工学士と工学修士であると判断する、と締めくられています。ECE では、学部の 1 単位が 0.75 US credit に換算され、修士の単位は等価に換算されるようです。

ワシントン州へ登録するために、CPEES にも評価を依頼しましたが、こちらはかなりてこずりました。英文講義概要を自分で作成して工学部長の承認をもらうことにかかなりの時間と労力を使いました。ただし、教養部の講義概要は英訳せずに工学部と大学院の講義概要のみ英訳して提出しましたが、評価結果が出たので、教養部の英訳は不要かもしれません。気になる結果は、残念ながら ABET 基準を満たしていませんでした。CPEES の評価方法は、取得単位を以下の 4 分野に分類して、すべての分野で基準単位を満たしていれば、ABET に適合している、満たしていない場合は、不足 credit 数が明記されます。

わたしの場合は、Math / Science が 5credits 不足でした。他の3 分野はクリアしていました。

Math / Science (specified criteria hours = 32)

Humanities (specified criteria hours = 16)

Engineering / Surveying (specified criteria hours = 48)

Elective / Other (specified criteria hours = 24)

4 分野をバランスよく取得していることが評価の鍵になります。

CPEES では、大学院の取得単位は評価に直接考慮されませんが、申請時に大学院の講義概要も送ったため、「大学院で応用数学と応用物理学を取得している」というフォローが記載されていました。CPEES では 1 単位が 0.84 US credit に換算されるようです。CPEES の結果が出るまで、約半年を要したわけですが、結局 DOL への申請には不要でした。

4. 最後に

JSPE マガジンの情報がなければ、わたしの州登録は無かったと思います。それほどに JSPE マガジンは有益でした。また、Reference をいただいた PE のかたがた、情報提供してくださいました先輩 PE のかたがたをはじめ、気にかけてくださいましたみなさまに感謝します。ありがとうございました。